

4

↓

月号 ほけんだより



登園前の体調チェック・与薬について

ご入園・ご進級おめでとうございます。新しい園生活が始まりました。子どもたちが健やかに元気いっぱい過ごせますよう、成長や健康に関することなど【ほけんだより】や【ほけんコーナー】を通じてお知らせしていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

「体温」が健康の状態を伝えてくれます！

毎日の検温を習慣にしましょう！（同じ時間帯で）

- * 一般的に子どもの発熱の目安は37.5℃です。平熱には個人差があるものです。（発熱がある際には家庭で様子をいただき、解熱後24時間以降が登園目安です）
- * 体温は午前4時頃が最も低く、午後から夕方にかけては高く、1日のうちで1℃近い変動があります。平熱は時間帯によって異なるので、起床時、午前、午後、夜のそれぞれの平熱を覚えておくことをおすすめします。
- * 食事や入浴後、そして泣いた後などは体温が上昇しています。機嫌のよいとき、または寝ている間に測るようにしましょう。

正しい体温の測り方(わきの場合)

- ・汗をかいていたら拭き取る。
- ・体温計を斜め下から押し上げるようにして入れ、しっかりとはさむ。
- ・ブザー音鳴るまでなるべく動かずに待つ。



登園前にお子さまの体調を確認しましょう！ 病気のサインはないですか？

目：目やにや涙が出る、充血している等の症状。

鼻：鼻水、鼻づまりがある。くしゃみが出る。口呼吸等の症状。

皮膚：ポツポツができている。赤く腫れている。水ぶくれや膿んだ場所がある等の症状。

おしっこ・うんち：回数や性状、においがいつもと違うなど。

目に見える症状が無くても、「いつもより機嫌が悪い」「なんとなく元気がない」など、気づいたことがあったら、登園時に職員にお伝え下さい。



薬について

当園は病児保育を行っていません。風邪薬などやむを得ず持参される場合は、保護者の責任のもと医師の診断、処方に従い与薬することが可能です。（かゆい時に塗るなど、保育者が判断し対応することは出来かねます）

1. 「与薬依頼書」を記入していただき、薬剤情報提供書（おくすり手帳）等をそえて、内服薬は昼食後の分、外用薬は処方された全量を持参し、朝受け入れの職員に手渡して下さい。
2. 薬は容器や袋一つ一つに記名し、依頼書と一緒にビニール製の袋に入れて下さい。
3. 医療機関では保育園に通っていることを医師に伝え、処方された薬のみご持参下さい。
4. 点眼薬、軟膏等の外用薬は毎日お持ち帰りです。
5. 市販薬や解熱剤、坐薬、鎮痛剤等の頓服薬はお預かりできません。
6. スポイトを使用する際はご持参下さい。薬を飲むための食品はお預かりできません。
7. 吸入等の医療行為は当園でできないことになっています。